

緑のミニツアー【株式会社オオスミ】

【ミニツアーの様子】



【参加生徒の振り返り】

- 実際に本格的に分析をしているところを見学した。さまざまな機械やそれがたくさん置いてある部屋で丁寧に作業している様子を見て、調べるときは環境や条件など慎重に実験することが大事だとわかった。探究のときにもそういったことを意識するようにしていきたい。また、こういう機械を使った研究が今までと違い実際にみたことで楽しそうに感じたので大学からの将来の選択肢として視野に入れて考えていくたい。
- 環境について土壌調査、海洋調査、大気の調査などの環境調査の内容とその重要性についてよく学ぶことができた。特に水質調査において、GC-MSを用いて分離した成分をMSを用いて特定・定量することで結果をグラフに表すことが印象に残っていて、加えて、機械に一任するのではなく、実験結果の妨害が測定値に影響を及ぼさないように人の手を加えて調整することが必要というのが、専門的な知識を必要とすることなんだろうなと考え、高校の時点である程度大学で学びたいこと、将来就きたい仕事に関係することを考えて調べておくことが必要だと感じた。また、大事な薬品の管理の方法に関して、ハンドボールの個数管理をしっかりして、ちゃんと保管するマニュアルを作ろうと決めた。
- 今回のミニツアーを通して改めて日常生活に疑問を持つというのは大切だなと思った。たとえば最近、SDG'sなどで水質汚染や環境汚染についての関心は高まっていると思う。ただ具体的に何をすればそれが解決するのか、主な原因はなんなのかというのをちゃんと理解できている人はそこまで多くないと思う。そういう日常にある小さな疑問というのを調べてみたり、自分で探究してみるというのが生活をより豊かにするにつながるのかなと思った。